

令和8年度 商工観光労働企業委員会 県内所管事務調査の概要

令和8年5月12日（火）

◆調査箇所：NPO法人長崎鼻B・Kネット／株式会社油花（豊後高田市見目）

【概要】

NPO法人長崎鼻B・Kネットは、長崎鼻の豊かな資源を有効利用し、地域社会の活性化を図ることを目的に平成22年に設立された。耕作放棄地を花畑として再生することで、多くの観光客を呼び込んでいる。

株式会社油花は、花畑から菜種油等を生産し、加工品販売やレストラン運営を通じて6次産業化を展開している。

今回は、両団体の事業内容等について説明を受けた後、質疑及び意見交換を行い、施設の見学を行った。



＜主な質疑等＞

- ・長崎鼻ヴィラリゾートの整備に係る財源及び運営について
- ・農業と観光の政策間連携による地域活性化について
- ・外国人観光客の状況について

◆調査箇所：北部振興局

【概要】

北部振興局から、管内人口の推移、組織及び人員のほか、地域未来創造総合補助金による支援、宇佐神宮御鎮座1300年関連事業、地域の企業の取組、外国人労働者への支援など、観光・商工業の振興に関する取組等について説明を受けた後、質疑及び意見交換を行った。



＜主な質疑等＞

- ・中東情勢による影響について
- ・北部地域における周遊観光促進に向けた取組について
- ・空き家を活用したビジネスの継続性について

◆調査箇所：一般社団法人中津耶馬溪観光協会（中津市東浜）

【概要】

一般社団法人中津耶馬溪観光協会は、中津の歴史文化、耶馬溪等の自然をいかした観光資源のPR、観光客の誘致活動を展開するほか、地場産品の開発、販路拡大を図り、地域活性化と持続可能な観光地経営に取り組んでいる。

今回は、協会の概要や中津からあげを起爆剤とした持続可能な観光振興と地域経済モデルの構築を目指し取組を進める「中津からあげプロジェクト」について説明を受けた後、質疑及び意見交換を行った。



＜主な質疑等＞

- ・「中津からあげ」商標使用の条件及び海外展開について
- ・鶏肉のトレーサビリティについて
- ・DX推進による観光体験の向上の取組について

◆調査箇所：大分県立工科短期大学校（中津市東浜）

【概要】

大分県立工科短期大学校は、本県の産業の発展、企業の技術力の向上に寄与するため、産業社会の変化に柔軟に対応できる高度な専門的知識と技能を兼ね備えた人材の育成を目的として設置され、3系（機械システム系、電気・電子システム系、建築システム系）6コース制の教育訓練体制を採用している。

今回は、学校の沿革、組織、職員数、教育の概要、在学生の状況、卒業生の就職状況等について説明を受け、質疑及び意見交換を行った後、校内の見学を行った。

<主な質疑等>

- ・デジタル化・AIに対応したカリキュラム編成について
- ・入学者確保に向けた施策の効果について
- ・産業界との連携について



令和8年5月13日（水）

◆調査箇所：進撃の日田まちおこし協議会（日田市田島）

【概要】

進撃の日田まちおこし協議会は、民間企業等で構成する団体と日田市観光課、日田市観光協会が実行委員となり、漫画家・諫山創さんの原作で世界的な人気を誇る「進撃の巨人」を活用した地方創生プロジェクト「進撃の巨人 in HIT A～進撃の日田～」に取り組んでいる。

今回は、協議会の事業概要や活動状況についての説明を受け、今後の取組や課題について質疑及び意見交換を行った。



<主な質疑等>

- ・進撃の巨人を活用した観光誘客の経済波及効果について
- ・観光客の宿泊動向について
- ・民間事業者との連携による関連グッズの開発及び販売状況について

◆調査箇所：株式会社ノーベル（日田市田島）

【概要】

株式会社ノーベルは、日田市を拠点に、機体販売や修理、ドローンスクールの運営に加え、空撮、長距離飛行といった高度な運航ノウハウを有しており、様々な分野でのドローンの社会実装を支援し、地域の産業振興や課題解決に貢献している。

今回は、同社の概要や事業内容、活動状況等についての説明を受けた後、質疑及び意見交換を行った。



<主な質疑等>

- ・ドローン操縦士の資格について
- ・ドローン活用における費用対効果について
- ・今後の社会実装に向けた自治体との連携の在り方について

◆調査箇所：西部振興局・日田高等技術専門校

【概要】

西部振興局から、管内の概況や組織・業務体系、地域未来創造総合補助金活用事業のほか、熊本県からの誘客促進、日田彦山線BRT沿線の地域振興・利用促進、ものづくりの再興による活性化など、観光・商工業の振興に関する取組について説明を受けた。

また、日田高等技術専門校から、設置目的や沿革、組織、入校生の状況、これまでの資格取得状況、技能向上訓練、委託訓練の状況などについて説明を受けた後、質疑及び意見交換を行った。



<主な質疑等>

- ・熊本・阿蘇エリアからのインバウンド誘致と観光連携について
- ・地域未来創造総合補助金（空き家ビジネス活用枠）の今後の展開について
- ・高等技術専門校における高齢者の就職実績及び中途退学の要因について

◆調査箇所：小松地獄（九重町湯坪）

【概要】

小松地獄は、筋湯温泉の近隣に位置し、自然の中に吹き上げる蒸気と、噴出する熱泥の様子が遊歩道から観察できる九重町の観光スポットの一つである。

令和2年7月豪雨で被災し閉鎖されていたが、令和4年度から復旧に向けた地盤調査や測量設計、整備工事を行い、令和7年度にリニューアルオープンした。

今回は、筋湯温泉観光協会による説明を受け、質疑及び意見交換を行った後、地獄内の見学を行った。



<主な質疑等>

- ・リニューアルの内容（被災前との違い、改善内容）について
- ・地獄特有の強い酸性や地盤変動への対策について
- ・さらなる魅力向上と観光誘客促進に向けた取組について

令和8年5月18日（月）

◆調査箇所：大分空港（国東市安岐町）

【概要】

大分空港（管理運営：大分航空ターミナル株式会社）は、大阪・関西万博の開催に合わせた大分県内への誘客活動の一環として、令和7年4月から期間限定で愛称を「大分ハローキティ空港」としている。また、旅客搭乗橋やインフォメーションカウンターなど、空港内の様々な場所をサンリオキャラクターで装飾し、訪れた人たちの目を楽しませている。

今回は、大分航空ターミナル株式会社の概要や乗降客数の推移、ターミナルビルの拡張・改修等について説明を受け、質疑及び意見交換を行った後、空港内の見学を行った。



<主な質疑等>

- ・手荷物の預け入れや制限について
- ・サンリオキャラクターの活用による観光客の反応について
- ・空港内の喫煙所について

◆調査箇所：杵築市役所（杵築市杵築）

【概要】

杵築市は、第3次杵築市総合計画に基づき、人口減少社会に対応した「コンパクト・プラス・ネットワーク」のまちづくりを推進しており、その施策の一環として、J R杵築駅周辺や中心市街地等の活性化に取り組んでいる。

今回は、立地適正化計画の区域設定や、J R杵築駅周辺の将来像と整備の方向性を示す基本構想策定の進捗状況等について説明を受け、質疑応答及び意見交換を行った後、杵築駅周辺の視察を行った。



<主な質疑等>

- ・ J R杵築駅駅舎の現状と今後の計画について
- ・ J R杵築駅の利用者の動向について
- ・ 今後のスケジュールと進め方について

◆調査箇所：株式会社サンリオエンターテイメント（日出町藤原）

【概要】

株式会社サンリオエンターテイメントは、令和7年12月にハーモニーランドのエンタメリゾート化に向けた基本構想を発表し、全天候型の大屋根やアトラクションのリニューアル、長期滞在できるホテルなど大規模な再開発に向けた取組を進めており、今後の本県の観光振興や地域経済活性化への波及効果が期待されている。

今回は、サンリオグループの事業概要やハーモニーランドの現状、基本構想の進捗状況等について説明を受け、質疑応答及び意見交換を行った後、ハーモニーランドの見学を行った。



<主な質疑等>

- ・ リゾート化に向けた交通アクセスや駐車場の混雑緩和対策について
- ・ 猛暑における来場者及び従業員の熱中症対策について
- ・ 自治体との連携や周遊観光の促進について

◆調査箇所：東部振興局

【概要】

東部振興局から、主な分掌事務、管内の概況・人口推移、組織及び人員、災害対策、特定家畜伝染病対策、管内の観光客数、地域未来創造総合補助金を活用した地域活性化の推進（令和7年度採択事業及び令和8年度採択事業）、管内移住者数の推移等について説明を受けた後、質疑及び意見交換を行った。



<主な質疑等>

- ・ 企業の経営状況及び中東情勢による影響について
- ・ 国東市におけるカキ養殖の現状について
- ・ 空き家対策について

◆調査箇所：株式会社美装管理（別府市天満町）

【概要】

株式会社美装管理は、ハウスクリーニングや店舗・オフィススクリーニング等の総合ビルメンテナンス業を手掛ける企業である。

定年を70歳、継続雇用を75歳まで（運用により年齢上限なし）としているほか、柔軟な働き方や職場改善等に積極的に取り組み、高齢者活躍の場を創出している。

今回は、会社概要や事業内容等について説明を受けた後、質疑及び意見交換を行った。



<主な質疑等>

- ・退職者へのサポートについて
- ・従業員の雇用形態及び正社員の割合について
- ・従業員の健康や働きやすさを重視した取組について

令和8年5月25日（月）

◆調査箇所：判田浄水場（大分市下判田）

【概要】

判田浄水場は、大分県企業局の主要な浄水施設であり、大野川流域にある白滝取水口から取水隧道を通じて取水した原水をろ過・処理した工業用水を大分地区臨海工業地帯に立地する企業に供給している。

今回の視察では、組織及び職員数、電気事業及び工業用水道事業の概要、令和8年度の重点事業について説明を受け、質疑応答及び意見交換を行った後、施設の見学を行った。



<主な質疑等>

- ・工業用水の浄水処理や水質管理、飲料水との違いについて
- ・工業用水の料金設定について
- ・老朽化した施設や設備の更新計画について

◆調査箇所：稲積水中鍾乳洞（豊後大野市三重町）

【概要】

稲積水中鍾乳洞（運営：カイセイ地所トラスト株式会社）は、日本最大級の水中洞窟である。

近年は、水中鍾乳洞でのダイビングや、アウトドアサウナの水風呂に水中洞窟を利用するサービス等を提供しており、年間約4万人が来場するなど人気を集めている。

今回は、鍾乳洞の概要や各種アクティビティ等について説明を受け、質疑応答及び意見交換を行った後、鍾乳洞等の見学を行った。



<主な質疑等>

- ・近年の調査研究による新たな鍾乳洞の発見について
- ・鍾乳洞ダイビングに必要な資格について
- ・アドベンチャーツーリズムの推進について

◆調査箇所：あつきらきら農園（豊後大野市三重町）

【概要】

あつきらきら農園は、イチゴやシャインマスカットの生産のほか、加工品の製造・販売、飲食業などを展開する複合型の観光農園であり、6次産業化を積極的に推進している。

平成17年に建設業からイチゴ農家へ異業種参入し、平成27年に農作物の加工・販売を開始、令和2年に農園カフェをオープンするなど、多角的な事業展開を進めている。

今回は、農園の概要や事業内容、地域と連携した取組等について説明を受け、質疑応答及び意見交換を行った後、農園内の見学を行った。



<主な質疑等>

- ・従業員数及び雇用形態、後継者育成や若い世代の農業参入について
- ・事業におけるA Iの活用及び具体的な効果について
- ・中東情勢による影響について

◆調査箇所：豊肥振興局

【概要】

豊肥振興局から、組織及び人員、管内の概況及び特性、令和8年度の重点項目（農林業の振興、魅力ある地域社会の形成）、地域未来創造総合生補助金（朝倉文夫をしのぶ「梅」を活用した誘客促進事業、竹田産品を活用した「竹楽応援メンチ」開発によるNPO法人財務力強化事業）、多様な地域資源を活用した誘客促進等について説明を受けた後、質疑及び意見交換を行った。



<主な質疑等>

- ・企業誘致の状況について
- ・中東情勢による影響及び対策について
- ・大蘇ダムの現状について

令和8年5月26日（火）

◆調査箇所：佐伯高等技術専門校（佐伯市西浜）

【概要】

佐伯高等技術専門校は、金属製品の製造に必要な4種類の溶接法や機械工作機の操作等を学ぶ機械加工科、木造建築に必要な手工具・電動工具の取扱法等を学ぶ建築科及び事務や営業等に必要なパソコンを用いた情報処理・文書作成等を行うオフィスビジネス科の3科を設置し、即戦力となる人材の育成を行っている。

今回は、佐伯高等技術専門校の沿革、組織、資格取得状況等の説明を受け、質疑及び意見交換を行った後、校内の見学を行った。



<主な質疑等>

- ・卒業生の就職先について
- ・技術の進化やA Iの普及に対応したカリキュラム・指導方法について
- ・障害者訓練の受入れ及び就職に向けたサポート体制について

◆調査箇所：南部振興局

【概要】

南部振興局から、組織及び人員、全県から見た県南地域、佐伯市内の造船企業、地域未来創造総合補助金（令和6年度及び令和7年度の補助実績）のほか、特定地域づくり事業協働組合を活用した人材確保と定住促進についての説明を受けた後、質疑及び意見交換を行った。



<主な質疑等>

- ・ 特定地域づくり事業協働組合による社会人野球チームの取組について
- ・ 佐伯市における造船業の現状と競争力について
- ・ 女性の定住・就業等への対策について

◆調査箇所：株式会社三浦造船所（佐伯市大字鶴望）

【概要】

株式会社三浦造船所は、1960年に創業し、内航船、外航船を問わず、貨物船、タンカー、旅客フェリー等、多種多様な船舶の建造を行う企業である。

南部地域における基幹産業の一翼を担っており、安全や環境、省エネに配慮した「MIURA」ブランドの船は国内外から高く評価されている。

今回は、会社概要、事業内容等について説明を受け、質疑及び意見交換を行った後、造船所内の見学を行った。



<主な質疑等>

- ・ 近年の造船業界の動向について
- ・ 人手不足や技術継承への対策について
- ・ 中東情勢による影響について

◆調査箇所：株式会社長尾製作所（佐伯市堅田）

【概要】

株式会社長尾製作所は、半導体製造装置、食品機械、電子部品、鉄道車両部品等、様々な業界をターゲットに、ITやインフラを支える製品を製造している。

多様な人材が働くための職場環境の整備にも注力し、社員がリラックスできるスペースの設置や、空き家を活用した外国人技能実習生向けの寮の整備等を行っている。

今回は、工場見学の後、会社概要、事業内容及び福利厚生 の取組等について説明を受け、質疑及び意見交換を行った。



<主な質疑等>

- ・ 製品の受注状況と取引先の新規開拓について
- ・ 人材確保及び外国人材の受入れについて
- ・ 従業員の福利厚生について

令和8年6月3日（水）

◆調査箇所：中部振興局

【概要】

中部振興局から、管内の概況、組織・施策体系、防災対策の推進や特定家畜伝染病対策、まち・ひと・しごと創生大分県総合戦略の着実な推進（地域活性化の推進、高齢化集落対策の推進、観光・商工業の振興）、令和8年度の管内各市への取組方針、高齢化集落対策における段階的支援、地域未来創造総合補助金を活用した地域活性化の推進、令和7年度の補助実績等の説明を受けた後、質疑及び意見交換を行った。



＜主な質疑等＞

- ・まちづくり協議会の具体的な取組内容について
- ・中東情勢による影響及びその対策について
- ・ホーバーターミナルを活用した西大分のにぎわい創出の取組について

◆調査箇所：三浦国土建設株式会社（大分市大字津守）

【概要】

三浦国土建設株式会社は、土木工事や舗装、維持修繕、宅地造成などを手掛ける総合建設業である。

若手人材が多く活躍し、女性社員の採用・育成に積極的であるほか、デジタル技術を積極的に活用した業務効率化にも積極的に取り組んでいる。

今回は、会社概要や事業内容の説明を受け、質疑及び意見交換を行った後、社内の見学を行った。



＜主な質疑等＞

- ・育児休暇・有給休暇等の取得に向けた休みやすい環境づくりについて
- ・写真や動画の共有による業務効率化について
- ・福利厚生の取組について

◆調査箇所：JX金属製錬株式会社 佐賀関製錬所（大分市大字佐賀関）

【概要】

JX金属製錬株式会社佐賀関製錬所は、銅を中心とする非鉄金属製品の製造・販売等を手掛けるENEOSホールディングスの中核事業会社である。

環境負荷の少ない製錬法やゼロエミッションを特徴とする産業廃棄物の無害化処理事業などにより、持続可能な循環型社会の構築と環境汚染防止にも積極的に取り組んでいる。

今回は、本製錬所の沿革や事業内容等について説明を受けた後、質疑及び意見交換を行った。



＜主な質疑等＞

- ・銅鉱石の調達状況について
- ・DXを活用した生産性向上・業務効率化について
- ・地域との連携及びコミュニケーションについて

◆調査箇所：富士甚醤油株式会社（臼杵市大字末広）

【概要】

富士甚醤油株式会社は、明治16年に創業し、味噌・醤油及び加工食品の製造・販売等を手掛けている。

近年では、プラスチックを大幅に削減できる紙パックラインを兼ね備えた加工品の第2工場の稼働のほか、太陽光発電設備やメタン発酵設備の導入など、環境問題の解決にも取り組んでいる。

今回は、事業概要や現在の経営状況、業界が抱える課題について説明を受けた後、質疑及び意見交換を行った。



＜主な質疑等＞

- ・調味料市場の動向と商品トレンドの変化について
- ・原材料費・エネルギー価格高騰が経営に与える影響と対策について
- ・老朽化した製造設備の更新と設備投資に対する支援策の必要性について